

WELCOME!



Japanese Association for Science Communication

一般社団法人

日本サイエンスコミュニケーション協会

WEB: <http://www.sciencecommunication.jp>

今こそ、科学の芽を育む!

日本サイエンスコミュニケーション協会 設立記念シンポジウム

開催趣旨

現在、サイエンスコミュニケーションを促進することにより、社会全体のサイエンスリテラシーを高め、人が科学技術をめぐる問題に主体的に関与していける社会の実現が求められています。一方で、サイエンスコミュニケーションを促進・継続していくためには、全国で行われている多様なサイエンスコミュニケーション活動を繋ぐことで支え合い、一般の人々、教員、科学者、技術者、メディアおよび行政の関係者など社会の多様な活動主体を積極的に巻き込むことで、ネットワークをより頑強なものにしていく必要があります。そこで全国の広範な仲間との交流を通じた情報と理念の共有、学術研究の深化などを積極的に進めるために「一般社団法人日本サイエンスコミュニケーション協会」を設立することになりました。

全国で活躍されているサイエンスコミュニケーション活動の担い手の皆さま、是非、当協会にご参加ください。また、今後のサイエンスコミュニケーションを考えるために以下のような内容で、設立記念シンポジウムを開催いたします。本シンポジウムでは、日本におけるサイエンスコミュニケーションのあるべき姿を皆さんと一緒に考えるとともに、日本科学普及リーダー養成研修会参加者の方々から、サイエンスコミュニケーションを活性化させるための事業企画や課題を発表していただく予定です。協会員でなくても、どなたでも自由に参加できますので、是非、ご参加のほど、よろしくお願いします。

申し込み方法

E-mail (info@sciencecommunication.jp) に、
題名を「設立記念シンポジウム申込」として、本文中に下記事項を記入の上、
2012年1月10日(火)正午までにお申し込みください。

【氏名】

【氏名よみがな】

【所属先名称】

【e-mail アドレス】

【懇親会についてどちらかお選びください】(参加・不参加)

【日本サイエンスコミュニケーション協会への加入予定】(あり・なし・未定)

【日本サイエンスコミュニケーション協会の活動について、ご意見や要望(任意)】

メールに
ご記入下さい。

参加費：シンポジウム参加費は無料
懇親会に参加される方は参加費として
3,000円を当日お支払いください。

プログラム

13:00～ 開会

13:30～ 基調講演

(仮題)「社会における科学、社会のための科学」

吉川 弘之 (独立行政法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター センター長)

14:30～ ポスターセッション

<「日本科学普及リーダー養成研修会」参加者による、
サイエンスコミュニケーションを活性化させるための事業企画や課題等の発表>

15:15～ パネルディスカッション

「日本におけるサイエンスコミュニケーション活性化への提言」

コーディネーター：美馬のゆり (公立はこだて未来大学 教授)

パネリスト：北原和夫 (東京理科大学科学教育研究科 教授)

倉持隆雄 (文部科学省研究振興局 局長)

小倉 康 (埼玉大学教育学部 准教授)

斎藤靖二 (神奈川県立生命の星・地球博物館 館長)

滝川洋二 (NPO 法人ガリレオ工房 理事長)

藤原 洋 (㈱インターネット総合研究所 /

ブロードバンドタワー / ナノオプトグループ代表)

元村有希子 (日本科学技術ジャーナリスト会議 理事)

16:30～ 休憩

16:40～ 総会

開会挨拶 会長挨拶 理事紹介他

18:00～ 設立記念パーティ

20:00 終了予定

シンポジウム開催概要

日 時： 2012年1月21日(土)

会 場： 東京大学 情報学環・福武ホール
(東京都文京区本郷 7-3-1)

<http://fukutake.iii.u-tokyo.ac.jp/access/index.html>

主 催： 一般社団法人日本サイエンスコミュニケーション協会

共 催： 自然科学研究機構国立天文台

対 象： サイエンスコミュニケーションに関心のある方ならどなたでも

*本シンポジウムは JST の科学コミュニケーション連携推進事業「機関活動支援」<http://sciencecommunication.jst.go.jp/kikan/> の支援を受けた活動です。



はじめまして。

“一般社団法人日本サイエンスコミュニケーション協会”です。

21世紀における科学の責務は「知識のための科学」に加えて「社会における科学、社会のための科学」である(1999年「ブダペスト宣言」)とされています。

サイエンス、広い意味での科学をめぐる状況は新しい時代に入っています。これからの社会では、一人ひとりがサイエンスに関心を持ちながらその本質を理解し、自分なりにうまく活用するサイエンスリテラシーを養うことで、社会がかかえる課題に主体的に関与し、判断していくことが求められます。サイエンスは利便性だけでなく、精神的に豊かに生きるための糧、文化ともなりえます。

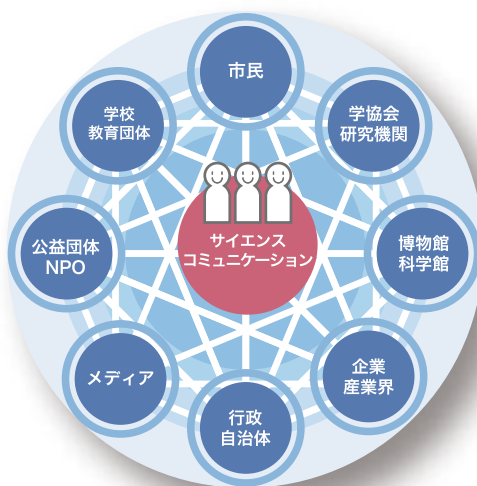
そこで重要な役割を果たすのが、サイエンスコミュニケーションです。サイエンスに関する理解、関心、意識を深めたり高め合うことを通じて、多様な意見を踏まえた合意形成を図り、人々の声を政策に反映させ、協働して課題を解決していくための活動です。それはまた、サイエンスの健全な発展とその成果の有効活用を促進する活動でもあります。

サイエンスコミュニケーションを促進し、継続していくためには、全国で行われている多様なサイエンスコミュニケーション活動を繋ぐことで支え合い、一般の人々、教員、科学者、技術者、メディアおよび行政の関係者など社会の多様な活動主体を積極的に巻き込むことで、ネットワークをより頑強なものにしていく必要があります。そこで私たちは、全国の広範な仲間との交流を通じた情報と理念の共有、学術研究の深化などを積極的に進めるため、「一般社団法人日本サイエンスコミュニケーション協会」を設立することといたしました。

サイエンスコミュニケーションを促進することにより、社会全体のサイエンスリテラシーを高め、人々が科学技術をめぐる問題に主体的に関与していける社会の実現に貢献します。

このような活動を行います

- つながる  情報の共有・交流
- 深める  調査及び研究
- 実践する  実施及び調査
- 発信する  意見の表明
- 育てる  人材の育成
- その他  関連事業の実施



このような方を募集します

- サイエンスコミュニケーションを実践する人
- サイエンスコミュニケーションの手法や評価方法などについて研究したい人
- サイエンスコミュニケーションの実施に向けて交流したい人
- サイエンスコミュニケーションの問題や課題を共に考え、改善のために活動したい人

など

JASCはサイエンスコミュニケーションに関心のある方すべてに開かれています。
皆様のご参加をお待ち申し上げます。

事務局・お問合せ先

JASC 一般社団法人
日本サイエンスコミュニケーション協会

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-38-4三鷹産業プラザB1
TEL: 080-8257-7959 FAX: 020-4622-7059 E-mail: info@sciencecommunication.jp
WEB: <http://www.sciencecommunication.jp>

